

今大会における競技・審判上の共通注意事項

競技委員長 加藤 勉
審判委員長 及川千春

1 入館・受付

- ・ 今大会では、会場の混雑を緩和するため、全カテゴリーの初日と、女子カテゴリー2日目では、午前と午後でチームの完全入れ替えを行います。該当の時間帯以外は、各チームは会場内にとどまらないようにすること。
※女子の初日・2日目は、2試合目が終わった時点で入れ替えを行います。男子・混合の初日は、3試合目が終わった時点で、入れ替えを行います。
- ・ 午前の開場時間は9:00、午後のチーム入れ替え時間は13:00です。※午前・午後ともに、設定された時間の10分前より早く会場周辺に来ないようにしてください。
- ・ 入館者全員がIDカードを携帯し、首から提げること(大会の周知事項を認識しているという証明・不審者対策)
- ・ 持参物:チーム名板(A4・得点板掲示用)は各チームで準備し、管理すること。
- ・ 監督やチーム代表者がチーム受付を行う。

2 帯同審判

- ・ JVA 公認のレフェリーウェアを着用し、資格取得級のワッペンを指定の位置に着けてください。
- ・ 当日やむを得ず帯同審判員が変更となる場合、選手やスタッフのエントリー変更と同様に、エントリー変更届を必ず提出してください。

3 帯同役員

- ・ 各チームの帯同役員を事前に決めておいてください。※都小連役員以外から選出してください。
- ・ お願いする役割
チーム入場時の整理・誘導
館内・館周辺の見回り(選手の安全確保、喫煙等のマナー確認など)
※チームが補助役員を担当している時間帯

4 補助役員

- ・ 各チームはラインジャッジフラッグを用意し補助役員時に使うこと。
- ・ 補助役員(ラインジャッジ・点示)にあたる際は、飲料水(スクイズボトル等)を持参し、セット間等に水分補給を行うこと。
- ・ 今大会では、会場の混雑を緩和するため、全カテゴリーの初日と、女子カテゴリー2日目では、午前と午後でチームの完全入れ替えを行います。
※補助役員は、午前・午後ともに1試合目は2試合のチームが行います。第2試合以降は、直前の試合で敗退したチームが担当してください。詳細は当日の審判からの指示を仰いでください。

5 服装について

- ・ ベンチ役員の服装は、タンクトップ・短パン・ハーフパンツを不可とする。Tシャツは着用可とする。ただし、子どもがベンチスタッフの場合は、他のベンチスタッフと異なる服装でもよい。
- ・ 監督章・コーチ章・マネージャー章は、必ず左胸に着用する。
- ・ 選手の服装はルールに準じる。
- ・ アンダーウェアはユニフォームの袖・裾・首等からはみ出していても可とする。

6 試合時の行動

【セーフティータイムアウト(STO)について】

- ・ 2026年度よりテクニカルタイムアウト(TTO)は廃止となり、セーフティータイムアウト(STO)に移行
- ・ 本大会では各セット1回のSTOを適用する。1・2セット目は11点、3セット目は8点に達した時に適用
- ・ 第1・第2セット:両チームが31点に達したときに適用し、以降は両チームが10点ずつ積み重ねた段階で適用する。
- ・ 第3セット:両チームが21点に達したときに適用し、以降は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。
- ・ 選手はベンチ横からウォームアップエリアの間の位置に30秒間とどまること。
- ・ STO中は、ウォームアップはできない。
- ・ ベンチスタッフの声かけは、健康観察のためのものである。

【監督の試合中の行動について】※令和8年度検証中

- ・ 監督は、自チームのアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。この時、ラインジャッジの視界を遮ってはならない。

【センターラインについて】※令和8年度検証中

- ・ 相手コートに侵入している片方の足(両足)の一部が、センターラインに触れているかセンターライン真上にあれば、この動作が相手チームのプレーを妨害しない限り、足首より上のどの部分が相手コートに触れてもよい。
- ・ ベンチでのうちの使用はタイムアウト・STO・セット間のみとする。
- ・ 選手は試合中、ワイピングタオルをコート内の選手が1名以上持ち、汗等で濡れた床を拭くこと。モップがけは強制ではない。

7 会場での行動

- ・ 公共施設や学校等の御厚意でお借りしている場所であることをわきまえ、使用上の注意を十分に守ること。
- ・ 選手の着替えは各会場で定められた更衣室を使用し、保護者が必ず付き添うこと。
- ・ 各チームの横断幕の掲出は、開会式と試合時のみとする。

8 その他

- ・ 各チーム1試合目の試合前に、10分間の練習時間を設ける。※朝の全体練習は行わない。
- ・ 試合が連続する場合は、試合間を最大15分空けることができる。
- ・ 飲料水、救急用品、タオル等、競技に必要なもの以外はベンチに持ち込まないこと。

- ・ 競技フロアでの飲料水については、選手はペットボトルを持ち込まず、スクイズボトルやワンタッチ式のふた付き水筒を使用してください。スタッフはペットボトルを使用してよいが、床にこぼさないよう十分注意してください。
- ・ 給水用のボトルを入れるかご等については必要最小限の大きさにし、大きなワゴン（キャンプカート等）については、選手の安全を守る視点からベンチの横に置かないこととします。
- ・ 大会当日については当日の会場責任者の指示に従ってください。
- ・ 試合の状況により、コートが変更となる場合がある。
- ・ 応援はタオル、うちわ、応援プレートを掲げることができる。メガホンを使用する場合は、各チーム一つまでとする。
※60cm を超える大きいものは不可。太鼓・ラッパ等の大音量を発生する鳴り物は使用しないこと。
- ・ 審判のホイッスルが聞こえなくなるようなプレー中の応援や、選手が萎縮してしまうような大きい声・音を出さないこと。
- ・ 試合中の各チーム横断幕の掲出方法については、会場の競技委員の指示に従うこと。
- ・ 最終試合のチームや補助役員のチームは、会場の片づけに協力してください。

体育館使用に際しては、お借りしていることを忘れず、使用上の注意を厳守しましょう。

お互いが気持ちよく試合ができるように、協力しましょう。